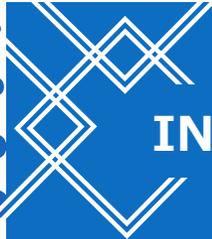


全てのデバイスから全てのOSへ



# スプラッシュトップ 紹介資料



## INDEX

- 01 Splashtopの概要
- 02 Splashtopの特長
- 03 導入事例
- 04 製品一覧
- 05 導入手順
- 06 会社概要

# Splashtopの成り立ち



From MIT to Silicon Valley

## 台湾にルーツを持つMITの学生4人がグループを結成

皆の想いは一つ、「一生懸命働き、一生懸命遊ぶ」  
元々は「家のゲームを外出先でもやりたい！」そんな思いから  
生まれたアプリです。

- 2000年：OSA Technologiesを設立
- 2004年：アボセントがOSA Technologiesを1億ドルで買収
- 2006年：Device VM が設立され、Splashtop に改名
- 初のインスタントオンブラウザOSの発売 - Google Chromebookの前身
- セキュアなリモートアクセスとサポートへのピボット
- 2021年1月：Splashtop はユニコーンの地位を獲得し、評価額は +10億\$ に及ぶ
- 2019年から2022年にかけて4倍に成長

# Splashtopとは？



遠隔地にある端末を遠隔操作する「リモートアクセスツール」です。



国内利用  
ユーザー数  
40万人  
以上

ユーザー数  
3500万人  
以上

国内売上  
シェア \*1  
No.1

## 主な利用用途



リモートワーク



社内サポート



社外サポート



リモートラボ



遠隔臨場



エンドポイント管理

\*1デロイト トーマツ ミック経済研究所株式会社：  
2023年9月発刊「リモートワークソリューション市場の現状と展望2023年度版」市場調査レポートより

# Splashtopの特長



Splashtopが選ばれている主な理由は以下の3点です。

## 導入のしやすさ



手元側/接続先端末にそれぞれアプリをインストールするだけで利用出来ます。  
特別な機器を用意する必要はありません。

## ハイパフォーマンス



独自のデータ圧縮技術を搭載し、最大60FPSの高速描写をします。  
遅延が許されないアニメーション制作現場でも多く採用されています。

## セキュリティ



通信は全てSSL/TLS AES256ビットによる暗号化通信を採用、外向きの443ポートのみ利用します。  
リレーサーバーは信頼性の高いAWS/OCI/GCPのクラウドサービスを採用しています。

# Splashtopの特長 -特長的な機能一覧-

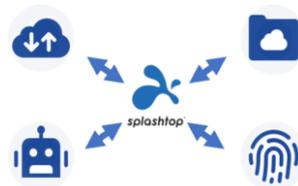


他社製品にはない豊富な機能もSplashtopの特長です。



## SCIM/SSO連携

外部IdPと連携し、アカウント管理を行う事が可能です。



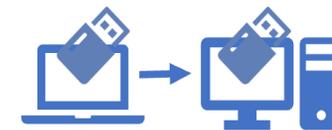
## API連携

SplashtopのAPIとサードパーティ社製のアプリやサービスを連携できます。



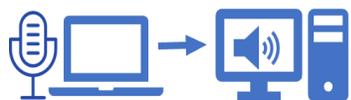
## マルチモニター表示

リモート環境でもマルチモニターでご利用できます。



## リモートUSB

接続元PCに接続されたUSB機器をそのまま接続先PCにマウントすることが出来る機能です。



## リモートマイク

接続元の音声を接続先へ直接マイク入力できる機能です。



## 2段階認証

ワンタイムコードを入力する事でログイン認証を強化できます。



## ブランクスクリーン

リモート接続時に接続先のモニターをブランクスクリーンにする事で、閲覧される事を防止出来ます。

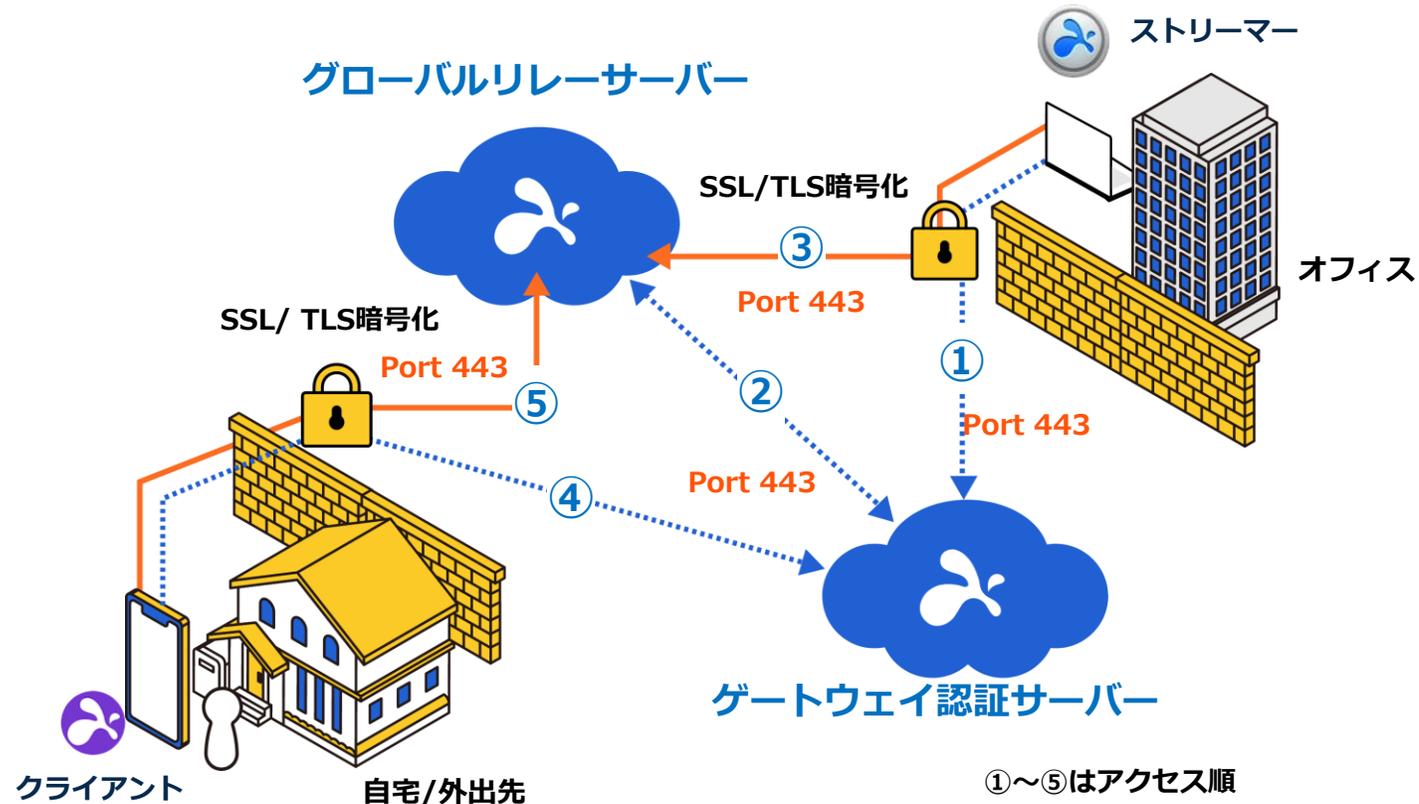


## スケジュール機能

リモートアクセスできる時間帯をコンピュータ/ユーザー毎に設定する事が可能です。

## 最新のネットワーク暗号化を採用した強固なセキュリティ

Splashtopは、自宅などの外出先デバイスにクライアントアプリ、リモート操作を行いたい社内PC側にストリーマーをインストールします。ネットワークには、銀行のオンラインバンキングなどで採用されているSSL/TLS AES 256ビット暗号化通信を利用し、クラウド環境でID/パスワードによる認証を行うため、高いセキュリティでのリモート接続が可能です。



# グローバル認証



世界基準のセキュリティ/コンプライアンスに準拠したサービスを提供します。



**ISO/IEC 27001**

情報セキュリティ管理システム（ISMS）の最高水準の維持への取り組みを証明する国際的なセキュリティ認証



**SOC 2**

(Service and Organization Controls 2)

米国AICPA監査による  
国際セキュリティ認証



**GDPR**

(General Data Protection Regulation)

EU一般データ保護規則



**CCPA**

(California Consumer Privacy Act)

カリフォルニア州  
消費者プライバシー法



**PCI DSS**

(Payment Card Industry Data Security Standard)

クレジットカードにおける  
グローバルセキュリティ基準



**HIPAA**

(Health Insurance Portability and Accountability Act)

米国医療保険の相互運用性と説明責任に関する法律

## アーティストも納得の使用感。色味や筆圧検知がポイント！



### アーティストも納得の使用感。 大ヒット作品を創るスタジオが、Splashtop を選んだ理由

株式会社ダンデライオンアニメーションスタジオは、数年前よりリモートワークの導入を模索していましたが、コロナ禍をきっかけに、全社的なリモートワークの導入に踏み切りました。そこで採用されたのが Splashtop です。

今回は、コロナ禍でも制作を止めないために、どのようにインフラを支えたのか、また、Splashtop が採用された理由や実際の制作現場での使用感をお伺いしました。

まずは、映像制作室 室長 / テクニカルスーパーバイザー 西谷浩人氏のインタビューです。



株式会社ダンデライオンアニメーションスタジオ  
映像制作室 室長 テクニカルスーパーバイザー 西谷 浩人 氏

—西谷さんの業務内容について教えてください。

弊社の主なビジネスは、3DCG を使ったアニメーション制作です。私自身は、普段はシステムのメンテナンスやテクニカルで、映像制作をする上での効率化を含めたツール制作や、キャラクターを動かすための仕組みづくりを担当しています。あとは、一応制作室の室長ということで、マネジメントを含めてやっている感じですね。

—3DCGに特化した映像制作会社の情報システムは、一般的な会社の情報システムと比べて特徴などはありますか。

実際に制作も自分たちがやるというところですね。中小企業だと大体このパターンが多いと思うのですが、大企業だと専任のプロフェッショナルな担当者がいると思います。その場合、システムのみ専任者だからこそ、現場との連携が難しい部分もあると思います。弊社の情報システム部門は、実質、自分ともう1人で管理しています。あとはヘルプ的に3~4人いますが、全員のメイン業務は映像制作なので、現場の事情も理解しながら対応することができます。

純粋に、制作りに集中できる環境のために  
リモートツールの選定ポイントは？

—コロナ禍の制作を、情報システムの面からどのように支えましたか。

コロナ感染拡大から、もう3年くらい経ったのでしょうか。ということは、大体そのぐらいの期間はフルリモートということですね。

とりあえずは、普段とあまり変わらないように作業をできな

株式会社ダンデライオンアニメーションスタジオ

2022年12月の公開以降、日本を飛び出し、世界各国で大ヒットを記録しているアニメ映画「THE FIRST SLAM DUNK」をはじめ、多くのファンを持つスマートフォン向けアプリゲーム「アイドリッシュセブン」や「あんさんぶるスターズ」など、数々のヒット作品の3DCG・デジタル制作を手掛けてきた映像制作会社。

### 導入前の課題

- ✗ VPNではネットワーク負荷が高くなり作業効率が低い
- ✗ VPNでは手元側端末が汚染されていた場合防ぎようがない
- ✗ 色味/音声/機能面より、在宅で制作作業が出来るソリューションが無かった

### 導入後の変化

- ✓ VPNに比べ圧倒的にネットワーク負荷が減った
- ✓ 汚染が内部に広がらないのでBYODでも安心
- ✓ 高度な色彩表現やペンタブレットの筆圧/傾き検知で在宅でも制作作業可能に

## 現場スタッフの利便性を損なわず、セキュアにCADをリモート操作！

**住友電設**  
Splashtop 導入事例インタビュー

**現場スタッフの利便性を損なわない**  
**セキュアにCADをリモート操作！**

今回は、スプラッシュトップを導入しどのように業務を進めているのか、リモートワーク導入の課題やスプラッシュトップを採用した決め手などについて、まずは情報システム部 兼 総合企画部 IT推進プロジェクト室 主席 中谷 光彦氏にお話を伺いました。

に繋げる仕組みのプロキキシなど、情報・インフラ系部分の導入等です。主に開発チーム、情報インフラチーム、ユーザーサポートを行うヘルプデスクチームに分かれて業務を行なっています。

採用の決め手は「業界で一番メジャーだったから」  
課題解決のための使用方法は？

—どのような経緯でスプラッシュトップを導入しましたか？—

VPNは元々あったので、当初は大阪本社にゲートウェイ型リモートデスクトップ設備の導入を検討していました。当社は現場がメインのスタッフが多いため、本社や支社、支店の内勤者は問題なく使用できても、現場スタッフはその設備を使うことができませんでした。

**住友電設株式会社**

総合エンジニアリング企業として、生活に不可欠な社会インフラの設備工事を行っている住友電設株式会社。世界最大規模の「レドックス・フロー電池設備プロジェクト」、日本最大級の「メガソーラー工場」など、多岐なプロジェクトにも参画。あらゆる業種を相手とした同社ならではの幅広い技術力と施工力を持ち、海外への事業拡大も推進中。

—企業概要について教えてください。

当社は、工事会社や電気設備業者として、「電力工事/ビル工事/プラント・工場工事/太陽光・風力発電」等の事業を手掛けています。

—業務内容について教えてください。

私は、情報システム部に所属しており、主に、情報インフラ系の企画や導入を担当しています。具体的には、社内ネットワークのLANやWANを繋ぐ作業や電子メールやインターネット

splashtop

### 導入前の課題

- ✗ 現場からCAD操作を行えないので業務効率が悪かった
- ✗ 現場に1つずつ専用線を用意する事は非現実的で外で出来ない作業があった
- ✗ 紙データの紛失リスクがあった

### 導入後の変化

- ✓ 現場のノートPCから高性能PCのCADを操作可能になり、業務効率が向上
- ✓ 安価なので多くの社員が場所に囚われず作業できるようになりESが向上
- ✓ 手元側にデータが残らないので端末紛失時にも安心

## 社内資産の保護とBYOD利用の両立が実現！多様な働き方で優秀な人材の獲得を推進。

The screenshot shows a case study article titled "株式会社セゾン情報システムズ" (Saison Information Systems Co., Ltd.) under the "Splashtop Business 導入事例 インタビュー" (Splashtop Business Introduction Case Study Interview) section. The article discusses the company's need for a secure and flexible IT environment to support its business, which involves credit cards, transportation, and small retail. It highlights the challenges of maintaining security while allowing employees to work from home and use their own devices. The article mentions that Splashtop was chosen for its ability to provide a secure and easy-to-use solution. A photo of Takashi Takahashi, the IT Department Manager, is included. The article also features a section titled "Splashtop導入の背景は?" (Background of Splashtop Introduction?) and another titled "導入にあたって クリアしておきたかったことは?" (What did you want to clarify before introducing?).

### 導入前の課題

- ❌ 子供の送迎、家族の看病が必要な従業員へ自宅で働ける環境を提供したい
- ❌ 多様な働き方の提供で若年層の採用を強化したい
- ❌ BYOD利用と社内の資産保護を両立させたい

### 導入後の変化

- ✅ 自宅や外出先でも社内と同じ環境で仕事をする事が可能に
- ✅ 仕事と家庭の両立で定着率UP！魅力的な労働環境のアピールで応募数が大幅に増加
- ✅ 手元側にデータが残らず、社内ネットワークへの影響も無いので安心

## 遠隔保守サービスの導入でユーザーサポートの解決時間と労力の減少に成功！

splashtop presents IoTで変わる“これからの働き方”特集

ヤマハ発動機株式会社 様

遠隔保守サービスの導入でユーザーサポートの解決時間と労力の削減に成功



静岡県を拠点とするヤマハ発動機株式会社 ロボティクス事業部は、表面実装機の開発・販売をする SMT 事業と、産業ロボットの開発・販売をする FA 事業、無人ヘリを取り扱う UMS 事業を柱として、産業用機械の開発・販売を行っている。その中でも、近年加速する IoT に欠かせない電子基板を製造するための設備「表面実装機 (SMT : Surface Mount Technology)」を開発する SMT 事業が導入した遠隔保守サービスについて、同社の商品開発部 ソフト開発グループ 開発担当 主査 宮本正信様と CS 部 SMT グループ 情報サービス担当 主査 増井三晴様に話を伺った。

### ヤマハの SMT ビジネスの 3 つの特長

Q. ヤマハ SMT ビジネスの特長について教えてください。

宮本さん：弊社の SMT ビジネスの特長は、主に 3 つあります。一つ目は、“ワンストップソリューション”であること。これは表面実装のプロセスを行うほぼ全ての設備を当社ワンブランドで商品化し製造していることを指します。近年、装置と装置の連携機能がとても重要視されていますが、全ての製品及びそのパーツを同じ工場で開発することで、より高度な連携を実現しています。



二つ目と三つ目は「製販一体」と「高い内製化技術」です。SMT 業界では、お客様が生産性向上に非常に注力しているため、様々な工夫がされています。それに伴い、様々なカスタマイズの要求もでてくるのですが、標準機能での対応が難しいレベルの細かいこだわりに関しては、ユーザー毎のカスタマイズという形で随時対応をしています。

### 導入前の課題

- ✕ メールと電話でのサポートではインシデントの原因特定まで時間が掛かる
- ✕ 現場に技術者が派遣されるため移動に時間とコストが掛かる
- ✕ 機器についての理解が薄い顧客へのトレーニングが難しかった

### 導入後の変化

- ✓ 遠隔操作で原因を突き止めることでタイムロスを削減
- ✓ 機器の交換等、本当に必要な場合のみ技術者を派遣する運用が可能に
- ✓ 顧客へのトレーニングを遠隔で実施し、製品の理解を深めることが可能に

# 利用例一覧

さまざまなシーンで生産性の向上を実感いただけます



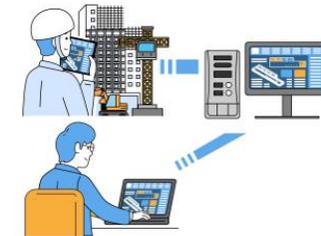
## 映像制作

自宅等からスタジオ内のハイスペックなワークステーションにアクセスする事で、場所に縛られない働き方を実現できます。



## 製造

遠隔地から工場内の機械操作、異常発生時の遠隔サポートにより効率的な生産環境を整えることができます。



## 建設

CADやBIMのソフトがインストールされたハイスペックワークステーションに、遠隔地からリモートアクセスが可能になります。



## 医療

医師、看護師がタブレット端末やスマホを利用し、院内のリソースにアクセスする事で訪問診療や訪問看護を促進できます。



## 出版

自宅から編集部にアクセスしてDTPデータを作成し、そのまま印刷会社に転送して入稿までを在宅で完了することができます。



## 小売/飲食

POSレジ端末の遠隔保守、データベースへのアクセスによる在庫管理を場所に囚われず行う事が可能です。

# 導入企業一覧

さまざまな業種/業態のユーザー様にご利用いただいております。



# 導入までの手順

どなたでも簡単に始められます！

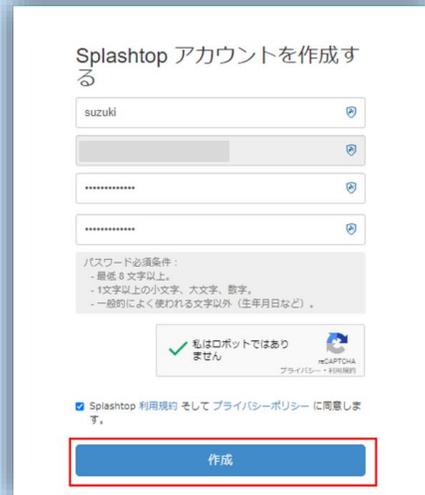
1

招待メールの確認



2

スプラッシュトップ  
アカウントを作成



3

会社側PCにStreamerを  
インストールする



4

自宅側デバイスに  
Clientアプリを  
インストールしてログイン



クイックスタートガイド

<https://jp-manual.splashtop.co.jp/hc/ja/articles/7537401865753>

Splashtop Business	
概要	リモートワークの利用が多く、Splashtop製品の中で最もリーズナブルな製品。
ライセンス単位	ユーザー単位
接続先PC登録可能台数 (1L)	5台
フレームレート	30FPS
主な機能	<ul style="list-style-type: none"><li>• ログ/ユーザー管理</li><li>• 2要素認証</li><li>• ファイル転送</li><li>• リモートプリント</li><li>• リモート再起動 等</li></ul>

# 会社概要

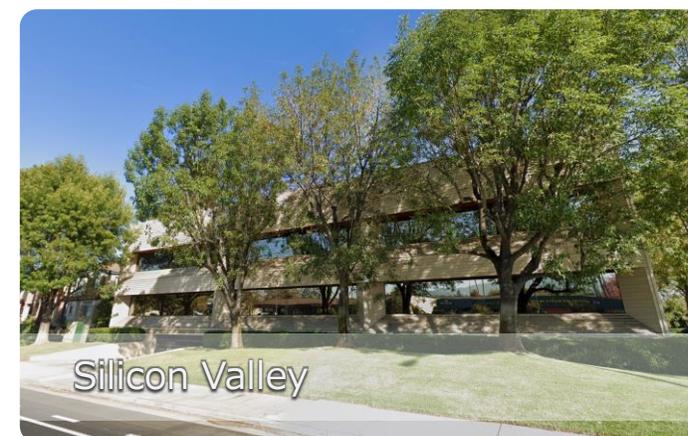


## 日本法人

商号	スプラッシュトップ株式会社
設立	2012年
資本金	100,000,000円
所在地	本社 / 東京都千代田区丸の内1-8-3 吉祥寺オフィス / 東京都武蔵野市吉祥寺南町3-1-4 / 東京都武蔵野市吉祥寺南町 2 -13
経営陣	代表取締役社長 / Mark Lee (Splashtop Inc. Co-Founder and CEO) 代表取締役常務 / Robert Ha 代表取締役 / Philip Sheu 代表取締役 / 水野 良昭

## 米国本社

商号	Splashtop Inc.
設立	2006年
資本金	\$11,400,000,000
所在地	Silicon Valley本社 / 10050 N. Wolfe Road, Suite SW2-S260, Cupertino, CA 95014, U.S.A.





最大30日間無料でお試しいただけます



<https://www.splashtop.co.jp>